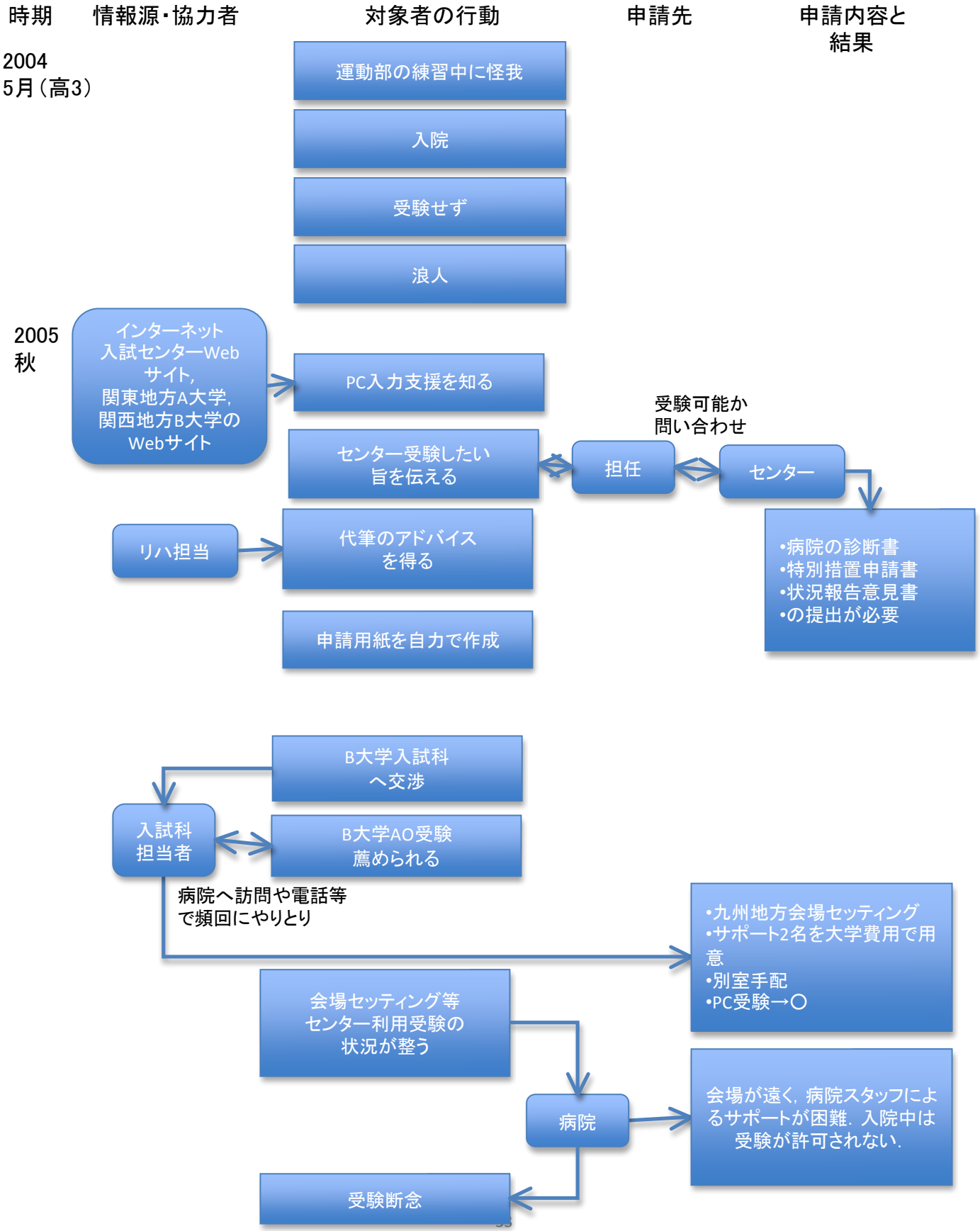
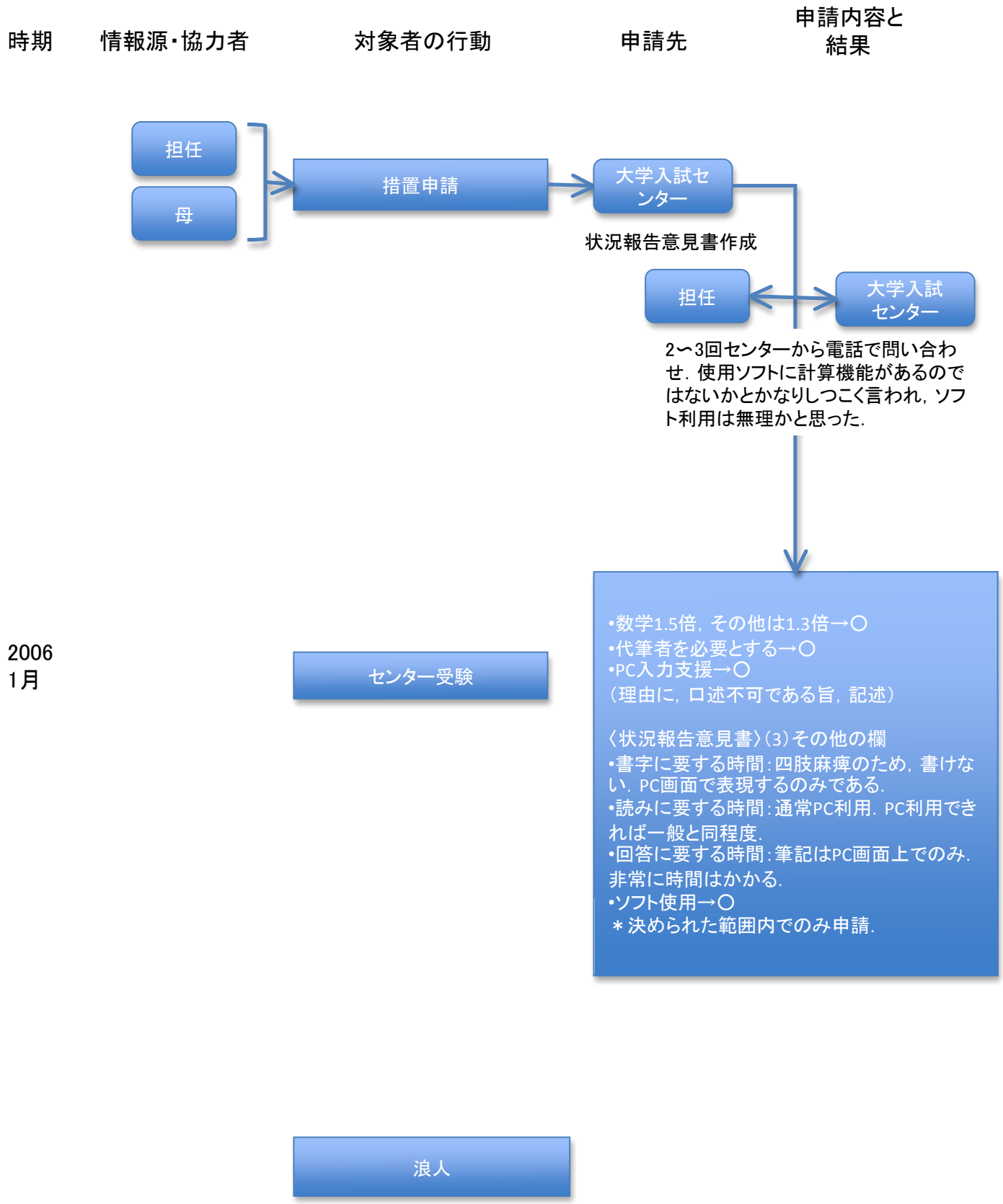
事例5：四肢体幹機能障害（頸椎損傷）による肢体不自由．電動車いすをヘルパーが操作．




時期
情報源・協力者
対象者の行動
申請先
申請内容と結果
担任
母
措置申請
大学入試センター
状況報告意見書作成
担任
大学入試センター
2〜3回センターから電話で問い合わせ．使用ソフトに計算機能があるのではないかとかなりしつこく言われ，ソフト利用は無理かと思った．
2006
1月
センター受験
•数学1.5倍，その他は1.3倍→○
•代筆者を必要とする→○
•PC入力支援→○
（理由に，口述不可である旨，記述）
〈状況報告意見書〉(3)その他の欄
•書字に要する時間：四肢麻痺のため，書けない．PC画面で表現するのみである．
•読みに要する時間：通常PC利用．PC利用できれば一般と同程度．
•回答に要する時間：筆記はPC画面上でのみ．非常に時間はかかる．
•ソフト使用→○
＊決められた範囲内でのみ申請．
浪人

H21年度

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
2009 6月		A.O.受験の事前問合せ →	私立C大 a学部HP	
		HPのメールフォームを使用		
		担当者と申請についてやり取り ↔	私立C大 a学部	
		メール		
8月		C大学へ特別措置申請		・試験場への乗用車での入構 ・EVが利用可能な試験室 ・体温調節ができないため，可能な限り空調のきいた部屋の使用，あるいは別室 ・特製机の持ち込み ・試験中及び待機中に人工呼吸器の充電 ・試験室の付添い者の同伴 ・車椅子の持参使用 ・論述形式の試験でのPC及びセンサー持ち込み，使用 ・論述形式試験での時間延長（1.5倍） ［その他］ ・グループ討論時，発声のタイミングが思い通りにいかないことをメンバーへ説明 ・グループ討論時，声が通らない場合の拡声器の持ち込み，使用
		申請結果を受け，受験断念 ←	私立C大 a学部	
				理由： ・試験運営上の時間調整が困難 ・他の受験生との受験上の公平性を確保することが困難

支援団体 Aさん → 大学試験センターにて特別措置申請の話し合い → センター担当者2人

（アドバイス，同行）

ヘルパー

母

（同行）

・前回の受験時，数学の受験時間（1.5倍）では足りない．今回は途中計算や計算過程を含め，さらなる時間延長と，代筆の許可を求めた．（時間延長の具体的な数字は提示していない）
→代筆者の用意について質問され，「自分で用意したい」と伝えた
→比較的フランクな対応であるが，申請時まで返答はなかった

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
9月		A.O.受験の事前問合せ HPのメールフォームを使用	私立D大 b学部HP	
		申請について やり取り	私立D大 b学部担当者 メール	
		D大学へ特別措置申請	私立D大 b学部	
		申請結果を受け取る		・試験室の介助者の配置→○ ・1階の試験室→○ ・特製机の持ち込み→○ ・目線に合わせた試験用紙設定期の持参使用→○ ・車椅子の持参使用→○ ・試験場への車での入構→○ ・体温調節ができないため，空調の調節が可能な教室→○ ・試験時間延長（1.3倍）→○ ・PCの持参，使用 →○（大学で準備）→○（持参） ・PCによる回答入力→○
		PCの設定が面倒であるため，持参使用を認めてほしい，と交渉	私立D大 b学部	
		約束事を決めた上で， PCの持ち込み・使用 許可		
		私立D大　受験		不合格
10月	東大先端研 相談	センター特別措置申請作成		

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
10月	東大先端研	数学の代筆回答を実施 経過時間を調査		
	東大先端研	エビデンスとして文書化		
		特別措置申請 エビデンス文書（代筆回答）を添付送付	センター	
12月		センター措置決定通知		・代筆解答（時間延長　数学1.5倍，そのほかは1.3倍）（別室）（連続方式）→○ ・試験室における介助者の配置→○ ・身障者用トイレに近い試験室→○ ・1階又はEVが利用可能な試験室→○ ・特性机の持参使用→○ ・車椅子の持参使用→○ ・試験場への乗用車での入構→○ ・代筆者の指定　ホワイトボードの使用→○ ・試験用紙設定器の持参使用→○ ・空調完備の試験室→○ ・リスニングにおいてCDプレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方法 ・リスニングにおいてCD使用
	母	代筆者について問合せ 電話	センター	代筆者について問合せ →会場と直接やりとりをするよう指示
	母 ヘルパー （同行）	代筆者の詳細問合せ 「代筆者が同じ出身校の場合は不可（理由は明記されず）」と文書で渡される． →「自分で代筆者を変えるのは無理」と答える →会場スタッフがセンターで電話し，確認．特例で許可される．	試験会場 電話 センター	

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
12月		私立D大へ特別措置申請	私立D大 c学部	
	母	特別措置に関する問合せ 電話	私立E大 d学部	
		私立E大へ特別措置申請	私立E大 d学部	
2010 1月		センター試験　受験		・数学は代筆者へも問題用紙が配られたが，理科は配られず，解答困難であった. ・代筆者とは思い通りに意思疎通ができず，解答に非常に時間がかかっり，得点もとれなかった. （原因として，代筆者との実質の練習回数は1回のみであったことが考えられる） ・前回との比較から，数式やグラフの描画などは，PC入力の方が時間がかからないと思った．PCと代筆を合わせて利用できるのが一番いいのではないかと思う.
		申請結果を受け取る	私立D大 c学部	・試験室の介助者の配置→○ ・1階かつ空調調節可能な試験室→○ ・特製机の持ち込み→○ ・試験用紙設定期の持参使用→○ ・車椅子の持参使用→○ ・試験場への車での入構→○ ・試験時間延長（1.3倍）→○ ・ページめくりのための人員配置→○ ・筆記：PCの持参，使用 →○（大学で準備）→○（持参） ・筆記：PCによる解答入力→○ ・マーク：口述による解答→○

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
2010 2月		PCの設定が面倒であるため，持参使用を認めてほしい，と交渉 →	私立D大 c学部	
		← 約束事を決めた上で， PCの持ち込み・使用 許可	メール メール	
		申請結果を受け取る ←	私立E大 d学部	・試験室の介助者の配置→○ ・1階かつ空調調節可能な試験室→○ ・特製机の持ち込み→○ ・試験用紙設定期の持参使用→○ ・車椅子の持参使用→○ ・試験場への車での入構→○ ・筆記：PCの持参，使用 →○（大学で準備）→○（持参） ・筆記：PCによる解答入力→○ ・数学：代筆者（大学が用意）による解答→○
		私立D大（センター利用） 受験 →		不合格
		私立D大（一般） 受験 →		不合格
		私立E大（一般） 受験 →		不合格
4月		浪人		